

## 令和4年度第1回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 令和4年8月30日（火）午後3時30分～午後5時00分

2 開催場所 小牧市中央図書館 4階 多目的室

3 出席委員 委員長 松永 恒二  
副委員長 丸山 真由美  
委員 下尾 由子  
" 櫻井 郁代  
" 前田 真理子  
" 後藤 千津子  
事務局 主幹 山田 久  
係長 花里 千賀子  
平山 加奈子  
兼岩 佳世子

傍聴者 0名

4 議題 (1) 選書について  
(2) その他

5 会議資料 選書資料

### 6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『ポストン美術館日本美術総合調査図録 2巻セット（解説編/図版編）』について

【松永委員長】

選書資料1について、各委員よりご意見をお願いします。

【櫻井委員】

私は可にしました。1冊にたくさんのがジャンルごとに収まっているので、2つの本を見比べても面白かったし、個人ではとても買えないので良いのではないかと思います。

【前田委員】

私も可にしました。合わせて見やすい。2冊を、1冊は写真、もう1冊がそれ（図版編の写真）に合わせた番号でレジュメを引いていくのですが、前の参考資料を見ると、前の方に資料があり、後ろに写真という風で、合わせてみるにはこのような別冊という形が見やすいなと思って（可とした）。非常に（値段が）高いが、内容がきっと豊富なので可にしました。

**【後藤委員】**

可にしました。私も興味があり、本も見やすいので。また、興味がある人は読むのではないかと思います。(値段が)高いから、なかなか自分では買えないので、図書館にあるといいと思い、可にしました。

**【下尾委員】**

図書館とか、アート美術館とかに置いてほしい内容だと思います。やはり(値段が)高いので、個人では買えないので、是非置いてほしいです。可です。

**【丸山副委員長】**

私も可にしました。最初は解説と絵が別々になっているのが、少しためらったが、見てみると意外と見やすいなと思いました。とても素敵なものを見せてもらいました。

**【松永委員長】**

私も可にしました。百科事典というような昔ながらの本当に王道だなと思いました。美術館に行ってみようという気持ちからすると、入口としては写真だけで作られているので、まずそれを見て、ではこれはどういう風なのかということで解説編を見ていくという順番になるのかな、ということからすると、あるといいかと思いました。

全員一致で購入可といたします。

**選書資料2 『戦いの日本史 第1巻』について**

**【松永委員長】**

選書資料2について、各委員よりご意見をお願いします。

**【前田委員】**

私は可にしました。戦いに特化した日本史の資料として、私は興味深いと思い、今ちょうど大河ドラマでやっている源実朝(が載っているページ)を開いてみて、戦いの事前・事後という流れがあって面白いと思い、興味が持てるのではないかと思いますので、可にしました。

**【後藤委員】**

私は、よく分からなかったなので、どちらでも良いけれども、お金があるのならば可、買って頂けたら良いかな、と思いました。戦いの歴史というのは、私もテレビを今見ている、日本人も結構戦いばかりをやっていたのだな、と思いびっくりしたのですが、それをずっと田中(著者)という人が書いているものなので筋が通っていて、著者の考えが出ているので良いかと思いました。

【下尾委員】

私も可にしました。本そのものの行間も広くすごく読みやすく、写真もある。わりとマイナーな戦いも載っているのですが、自分の身近で起きた戦いも面白く書かれていますので、ぜひ置いて欲しいと思います。

【丸山副委員長】

私も可にしました。著者の方が防衛大学ご出身ということで、やっぱりその立場だからこそ得られる資料とかがあるのかなと思いました。このような詳細な資料は、多分これほどまとまったものは見たことが無いので、とてもよくまとめられたなと感服いたしました。中に、何とかの「変」何とかの「乱」というのがあり、私が子どもに教えるとき、何とかの「変」は結果的に歴史が変わったもので、何とかの「乱」は乱しただけで変わらなかったもの、と教えていたが、もしかして違ったかもとちょっと反省しました。

【松永委員長】

私も可にしました。面白い本だと思います。私は社会科教員なのですが、社会の授業をする前の教材研究をする1冊として、(社会科教諭の) 端くれだったら読むべき本だし、当たるべき本だなと。源平の合戦だけでこんなにもたくさんの熟考につなげているのはすごいなという風に思いました。本当に時間をかけて読みたい。できれば去年あれば大河ドラマの関係もありよかったのと思う。

【事務局】

今年から6冊かけて発行する新シリーズになります。

【松永委員長】

では来年の家康につながるものですね。

【事務局】

そうですね。6冊のうち戦国時代で半分くらいあります。

【櫻井委員】

私も可です。今話題にもなりましたが、6冊揃ったら圧巻だなというか、読み応えのありそうだな、ということと、参考文献がたくさん紹介されているので、学生であったり、専門で研究したりという人にとっても、良い1冊になるのではないかと思います。

【松永委員長】

不可が無いという意味では、全員一致かと思えますので、購入可といたします。

選書資料3 『〈稿本・大名家本〉伊能図研究図録』について

【松永委員長】

選書資料3について、各委員よりご意見を申し上げます。

**【後藤委員】**

判断に迷いまして、お金があつて買えるのであれば可ということで。同じ方のもの（著書）が参考資料にあるし、（図書の中を）見た感じがすごく細かいので、ここまで見る人がいるのか等、色々考えましたが、わからないので、お任せします。

**【下尾委員】**

私は可としました。写真とかも昔のものだったのを美しく再現してあつて、読みやすく、地図という知識物がどういう風にして作られたというのがしっかり読めば身につくと思います。

**【丸山副委員長】**

私も可にしました。我が家的にすごくタイムリー（な話題）で、このあいだ、息子が桃太郎神社の前にあるキャンプ場に友達と行ったが、グーグルの地図で見たら、湯の華アイランドまで4Kmだったらしい。それでグーグルの地図に沿って山を登ったら途中道が無くて、また戻って逆回りで湯の華アイランドまで行ったら、自転車で1時間かかったらしい。帰ってきたときに「伊能忠孝マジすげえ」と（息子が）言っていて、どうして人工衛星とか測量機器無い時代に、これだけ正確なものが作れたのかということをもっと時間があつたら読んでみたいなと思ひまして、可にしました。

**【松永委員長】**

私も可にしました。小学校の6年生の歴史の教科書に伊能忠敬を扱うのは1ページ半くらい。写真とデジタル教科書の動画が数十秒という風なだけで伊能忠敬が終っていくのですが、実際に伊能忠敬がやったのは、実感した（丸山副委員長の）お子さんの話にもありましたが、こういう話を教員として見せてあげられる、体育館に伊能全図を広げると体育館が埋まってしまうぐらいなんだよ、ということをも、実感をもって話ができるようにする資料としては自分自身として先程の（『戦いの日本史』）と同じで、あるべき本の一つだな、という風に強く思った次第です。

この本と7番（『測量・地図百五十年史』）は何か関係があるのですか。

**【事務局】**

選定資料に選ばれたのはたまたまですが、去年が伊能忠敬の200年記念なので、関連本がたくさん出ていまして、それに伴って現代に至るまでの測量の変化がわかるのが7番の資料です。

**【松永委員長】**

セットで購入を考えているのかと思ったので、可としました。

**【櫻井委員】**

私も可です。よくわからないが、拡大写真がついていて、あれだけ細かく見たことがなかったし、面白いと思った。伊能忠敬さんはやはり語り継いでいくべき人物だと思うし、一定数のニーズがずっとあるのではないかと思うので可です。

**【前田委員】**

私も可にしました。参考資料で伊能忠敬大図総覧を見て、測量のそのままだが載せてありますよね。でもそれだけではない、研究したもの、分析したような感じが、あまりじっくりと読めていないのでわからないところもたくさんだが、研究本としてはとても優れた物。分析する本として（良いと思ったので）、可にしました。

**【松永委員長】**

後藤委員からお任せしますというお話があり、残りの委員が全員購入可ということなので、購入可といたします。

**選書資料4 『日本ボランティア・NPO・市民活動年表 増補改訂版』について**

**【松永委員長】**

選書資料4について、各委員よりご意見を申し上げます。

**【下尾委員】**

私は、よくわからないので、可でも不可でもなし、としました。活用法というのが、ただ自分たちの活動が載っているかな、くらいにしか利用できないのではと思い、活用方法がわからないので、可でも不可でもなしとします。

**【丸山副委員長】**

私は可としました。私事ですが、NPO 市民活動向けの寄付サイトがあるのですが、ライターをやっております、結構このような本があると助かるなと思って読んでいました。つい先日、少年兵とか地雷撤去について書いたのですが、どういう法律があって何が妨げになっていて今こういう活動に繋がっているのかというのが、意外と裏取に時間がかかった。今、この本を見ていると、どういう国際的な動きがあって、どういう条例が出てきて、それによってこういう活動家が出てきたというのが、時系列になっていたので、私個人的にはすごく欲しい本だなと思いました。ちょっと内容はあっさりしているので、どういう方がご覧になりたいのかは少しわかりませんが、可にしました。

**【松永委員長】**

私は可と不可の間、少し可より、という感じです。（下尾委員と）同じで、どのような方が利用するのかというところが、今丸山副委員長がおっしゃったことで、なるほどと思いました。宗教という項目がなくて、自分が一番知りたいと思うところが無かったのが、少し残念だなという点で、少し評価が下がってしまったというところです。

**【櫻井委員】**

私は可としました。分野ごとに細かくまとまっていたので、一つあるといいのかな、と感じたからです。ただ、参考資料の2番に同じようなものがあり、貸出禁止扱いになっているので、今回この本が購入されると、前の本が貸出されるのかと。

#### 【事務局】

新しいものは館内で閲覧いただき、この本（改訂前の本）が貸出されることになるので、借りてお家でゆっくり読めるようになります。

#### 【櫻井委員】

始まりのミッションというコラムが面白かったです。購入可です。

#### 【前田委員】

私も可にしました。資料（改訂前）と何が違うのかというところを見比べてみた。ボランティア活動は今とても活発になってきていて、その歴史を知るという意味では、資料として流れというか、どういうことが発端でということを知るものとして良いのかな、と思った。また、分類の仕方が前のものと比べると、右側に書いてある人権という言葉も、今のは一番上にあるが、前はずれていて、たぶん現代の用語の使い方とかそういうものに合わせて少し変化、今に合わせた言葉にしてあるのだなと思ったときに、前の版があるのなら、今の最新版があった方がいいのかな、と判断をし、可としました。

#### 【後藤委員】

前の版があったので、（出版の）年数を見ていたら8年くらい前のもので、（今回の選定資料には）改訂版と書いてある。やはりふたつあった方が今の感覚で判断したものが載っているのではないかと思うので、よくわからないが、可ということにしました。

#### 【松永委員長】

皆さんの意見からすると、購入可と考える方の方が多いということで、購入可といたします。

### 選書資料5 『世界の仮面文化事典』について

#### 【松永委員長】

選書資料5について、各委員よりご意見をお願いします。

#### 【丸山副委員長】

最初どうしようか迷いましたが、読んでみると引き込まれる本で、仮面の装置としての役割とか、皆さん『キングダム』という映画をご覧になったことありますか。山の神楊端和が最初仮面をつけているのですが、あの仮面をつけていることによって、すごく対照的というか、印象的になるのだな、ということがこの本を読んで改めて思いました。小さいころ、祖父母の家に能面とかが飾ってあってすごく怖かったのですが、なぜお面は怖いのか

などが、もう少しこの本を読んで原始的な気持ちに近づきたいな、と思ひまして、可としました。

**【松永委員長】**

すみませんが、私は不可といたしました。どうしても、この本の装丁が2万円もするというのが、どうしても違和感を禁じ得ず、2万円だったらもっと厚い装丁で重厚な面構えにしてもらえると良かったのにな、と入り口でつまずいてしまったので、非常に浅い理由ですが、不可としました。

**【櫻井委員】**

私は可にしました。(値段が)高いから図書館でしか読めない、と思ひ。最初「え、仮面？」と思ひしたが、読んでいくと読み物としても面白くて、これが(図書館に)入ったら私は読むなと思ひしたので。

**【前田委員】**

私も迷ったのですが、可にしました。仮面は色々な意味だとか文化があり、能面にも意味があるのだろうなと思ひ。あつたら読んでみたいというか、そういう興味はあり、今だけではなく昔からの文化にもお面を通して何かあるのかなと思ひ、わからなかったが可にしました。

**【後藤委員】**

私は欲しいと思ひて可にしました。読みたいと思ひました。

**【下尾委員】**

私も可にしました。仮面舞踏会とかぱつと浮かんだのですが、やはり自分を変えるのに仮面を被るのが、面白いなと思ひました。そういう、昔から踊りなんかでも仮面をつけて踊るという文化をやはり見てみたいなと思ひました。

**【松永委員長】**

不可が私一人ということで。私はこの本を見たときに、もっと調べたいなと思ひた時の出典などがそういうものが引き辛いな、と思ひたのですね。もっと知りたいなと思ひることがこの本だけで終わってしまうのが残念だな、と思ひた次第です。(結果に関わらず自分の意見を)言いたかっただけです。

ということで、購入可といたします。

**選書資料6 『アンモナイトと恐竜時代の生物 銅版画で辿る化石図鑑』について**

**【松永委員長】**

選書資料6について、各委員よりご意見をお願いします。

【松永委員長】

購入可としました。化石図鑑として非常に面白く、写真が大きく場所が取られていること、それから、スケッチ等もすごく大きく描かれていて非常に見やすいな、と。百科事典としても整えられていて、内容としては良いかなと思いました。ただ、素人が、または小学生や中学生が手を出すというものではないかなという点に引っ掛かりを覚えたのですが、アンモナイトというものに特化していることにおいて面白いなという意味で、可にしました。

【櫻井委員】

私は保留です。アンモナイトと一言で言っても、本当にものすごくたくさん種類があるのだなということ、初めて知ったところは面白いと思ったが、(図書のサイズが)大きくて扱いにくいこと、敢えて要るのか、という点で判断しかねるため、保留です。

【前田委員】

非常に迷い、一応可にしましたが、非常に専門的なもので、アンモナイトにここまで特化したものが中々無いのだろうなと思ったのですが、少しだけ読んだら、北海道がアンモナイトの産出に貴重な場所であって、そういうものが、と書いてあったので、そういった意味ではやはり(図書館に)あるというのが大事なことなのかな、と思い可にしました。

【後藤委員】

私は可にしました。この(著者の)福岡さんという人の思いがすごく籠っているのが読んで分かって、こういうのが好きだから、可にしました。

【下尾委員】

私も可にしました。本日の一押しかな、というのが私の中の思いなのですが、写真もきれいだし、写真のみで分かりにくいものはスケッチで表現してあるし、小さな子どもたちでも面白く読めると思う。ページをめくるだけでも楽しいのではないかと思います。

【丸山副委員長】

私は保留にしました。あっても無くても良いかな、と。興味が無いわけではないが、なぜ銅版画なのか等が、私の心のストライクには入らなかったです。

【松永委員長】

審査員によって刺さる、刺さらない等あって興味深いですね。とはいえ、購入可とする方が多数のため、購入といたします。

**選書資料7 『測量・地図百五十年史』について**

【松永委員長】

選書資料7について、各委員よりご意見をお願いします。

### 【櫻井委員】

保留です。ただ、先ほどの3番（『稿本・大名家本』伊能図研究図録』）とセットであればいいのかなということを知り、可に傾いた保留です。とても詳細に地図や測定の歴史が書かれているというところはすごいなと感じました。東日本大震災のときの測定であるとか、どんなふうに対処されていたかということも書いてあったので、ただの歴史ではなく今にも大事な技術なのだということとはとても伝わったのですが、判断できませんでした。

### 【前田委員】

私も保留にしたのですが、先ほどの櫻井委員と一緒に、『伊能図研究図録』とセットでという話が出たときに、そうかと思ったので可なのかなと思った。一番最初の印象としては保留と私の中ではつけています。一般庶民が地図と関わりを持って来たことが読み取れるというような一文が目に入って、ただ文字が多くてなかなか難しいなと思い、迷いますが保留です。

### 【後藤委員】

私は可としました。読みにくい部分はありませんでしたが、150年分がまとめてあって、今もグーグルで見れますけれども、伊能忠敬もそうだが、ずっと昔からどういう風になっていたのかなというのは、興味がある子にとってはとても興味があるのではないかと思います、子どもも大学生も、興味のある人だけだとは思いますが、一般の方に読んでもらえるのではないかと思います。

### 【下尾委員】

私も可にしました。専門家にとってやはり良書であるのかなと思いました。伊能忠敬は55歳から（測定を始めたの）ですよね。実際本人が全部回られたのかなとか、すこしお弟子さんの手を借りただけだと思いののですが、すごいなと思います。

### 【丸山副委員長】

すごく迷いましたが、可にしました。測定は全然畑が違うので、仕組みも何もわからないが、何年前に祖母が亡くなって登記をし直さなければならないとき、昔の測定だからもう一度測定をやり直してくださいと言われ、昔の測定と今の測定とそんなに誤差がでるのかなとその時思ったが、確かに誤差はあった。こういう本があると少しずつやり方が変わっていったということがわかるのかなと。ただ、私が読むことは無いかなという心の揺れがあったが、先ほどの話（『伊能図研究図録』とセットで購入する）を聞いて、では可で良いかと思いました。

### 【松永委員長】

私は可にしました。理由は先ほどの伊能図の比較対象というところで、伊能忠敬がさらに位置が高くなるというか、スポットが当たるきっかけになるだろうなど。我々が先進技術を使って、（自分が）子どもの頃から測定している人たちは非常にたくさん見かけているが、その人たちが使っている機器が大きく変わってきているということも、この本から読

み取れるという点は、喜ばれる方たちもお見えになるだろうなと思い、可にしました。

圧倒的不可ということではないが可か、という方が多く、消極的賛成も含めて購入いたします。

## 選書資料8 『建築家人名事典 西洋歴史建築篇』について

### 【松永委員長】

選書資料8について、各委員よりご意見を申し上げます。

### 【前田委員】

私は可にしました。あまり明確な理由が言えないが、(図書館所蔵の) 図書の中に同じ図書が既にあるが、始めの所とか出だしは変わらないが、増補があると考え、前の続きのような改訂版があっても良いかと思い、可としました。

### 【後藤委員】

私は分からないので、先ほど(前田委員が) 言われたように同じ本が20年くらい前に出ているが、(購入すべきか) わからないので保留で申し上げます。

### 【松永委員長】

これは、純粹にわからないという意見でよろしいですか。

### 【後藤委員】

はい。わかりません。

### 【下尾委員】

私は分からないので不可にしました。特に自分自身にも外国の建築家は身近に感じないし、他にも(類本が) ありますので、少しでも出費を抑えた方がと思いました。

### 【丸山副委員長】

私はすごく迷いましたが、可にしました。著書の方は丹下健三さんのお身内の方か何かですか？それにより判断がかわることはありませんが、名古屋市出身だったのでもしやと思い。内容は古い建築家ばかりで、しかも海外の方なのでどのタイミングで(読まれるか) と思ったが、例えば大聖堂とかは読みごたえがあったので、あっても良いかと思い可にしました。

### 【松永委員長】

私も迷い、真ん中より少し可か、というくらいです。先ほどの『世界の仮面文化事典』で申し訳ないが、すごく立派な方たちが書かれているので本当に引用がなく、自分の知識が網羅されているという感じだったが、こちらは謙虚に引用が示されていて、今日の前にあ

る建築物がどういう人か、この人物はどういう人かという入り口として、そこから広がっていくという本としては使い勝手があるのかなと思いました。でも（価格が）高いなという点で迷いました。

**【櫻井委員】**

私も可よりの保留です。1200年代の建築物に個人名がついているので、生きた人間が作ったのだなと、建物ではなく人の営みのような感じで建築物を見る視点になるという点で面白かったが、同じような本があり、かなり古い建築物や人物なので、新版といえどそれほど新しく何か情報があるかと思うと、旧版がどれくらいの人に読まれていて、どのくらい本として活動しているのかということが判断の分かれ道と思い、保留です。

**【松永委員長】**

一番意見が分かれた資料ですね。保留が多く、不可の方もお見えになります。意見を聞いて判断を変えられる方はいますか。

皆さんの意見をまとめると、購入しても良いかというくらいの保留が多いため機械的に判断すると購入可となりますが、8番は保留し、9・10番の資料の後にもう一度考えましょう。

**選書資料9 『帝国の写真師 小川一真』について**

**【松永委員長】**

選書資料9について、各委員よりご意見をお願いします。

**【後藤委員】**

よくわからなかったが、文章よりもっと絵や写真が欲しかったなと思い、小川という人を良く知らないが、一代記だと思うが、よくわからないため、どちらかというところ不可だが、皆さんの意見によっては可にうつるかもしれません。

**【下尾委員】**

可にしました。個人の伝記のような、よくこれだけ一人のことをまとめられたなと著者に頭が下がる思いで、可にしました。

**【丸山副委員長】**

今回の10冊の中で、一番わからなかった。装丁はすごく好きで、お値段もすごく好きだったが、中身が刺さらなかったなので、不可でお願いします。

**【松永委員長】**

小川さんは愛知県とか中部地方の方ですか。

**【事務局】**

埼玉県でお生まれの方です。写真の部門で初めて帝室の技芸員として認められた、当時の帝国のスペシャリストの技術者として最初に認められた立場の方です。

**【松永委員長】**

これが2万円と言われれば不可かなと思うが、8000円なら可かと。夏目漱石の話もありましたので、消極的な可です。

**【櫻井委員】**

不可に近い保留です。小川さんの事を語りたいのか、小川さんを通してメディアの事を伝えたいのか、ちょっとよくわからなくて、どちら側から見てもとっつきにくい。メディアということの本であればもっと良い別の物があるだろうし、小川さんというものを語るのであればもう少し読もうと思えるものがあるのではないかと思ったので、不可よりの保留でお願いします。

**【前田委員】**

最後の所で、夏目漱石の肖像の写真が撮られた方なのだとということを見たときに、中にも文章が多かったが、いろんな写真は載っていて、たぶんこのような写真が当時の貴重な写真なのだろうと思った。わかりにくい所もあったが、決め手は夏目漱石を撮られた方で、そうだったのか、という点が大きかったかなと。資料の一つとしてあっても良いのではという可です。

**【松永委員長】**

意見が割れましたね。装丁だけ見ていると小説のようですが、手に取ってがっかりする人もいそうですね。10番目の意見を聞いてから決めましょうか。

**選書資料10 『平安朝文学と色彩・染織・意匠』について**

**【松永委員長】**

選書資料10について、各委員よりご意見をお願いします。

**【下尾委員】**

可もなく、不可もなく、保留です。お値段はお安いですが、写真もないし、染色の本なので色についての写真とかがあるのかなと思ったが、文学についての本なので、すこし書名と違うような気がしたので、保留です。

**【丸山副委員長】**

迷ったが、あっても良いかという消極的な可です。

**【松永委員長】**

私もどちらかという消極的な可です。各章ごとのタイトルの付け方が面白くて手に取

って読みたくなるような雰囲気を感じたので、可にしました。

【櫻井委員】

私も消極的な可、保留で良いのであれば保留で。国語を教えているので、そういう意味では読んでいて面白いなと思ったのですが、色彩とかそういう題名であるなら写真であるとか図案であるとかを期待して手に取られる方が多いかと思い、書名と内容との差を感じるので保留かなと思います。

【前田委員】

迷っての可です。読んでみて読みづらいなという感じがした。好きな方は手に取られるのかなという感じですが。平安文学は惹かれるものがあるので、読まれる方があるのかなという感じの可です。

【後藤委員】

わからなくて迷い、不可にしました。一番初めのカバーはすごくきれいですが、カバーと同じようなものを中に入れていくと、値段が8000円では収まらず高くなってしまいますのでこの内容になったのかなと思った。和歌と解説が何となく読みづらいと思い、開いても詠まないのではないかと。これは手にとっても中までは私は読まない、読めないなので、そうすると文学に興味がある人は読むのかわからないけれど、不可で。

【丸山副委員長】

可でも良いかな、という方が3名ですね。

【松永委員長】

では消極的に買うという判断が多かったので購入になりますが、よろしいですか。

【後藤委員】

それでよろしいです。

【松永委員長】

では購入可といたします。

では、保留にしていた8・9番ですが、どうでしょう。

【後藤委員】

8番はお値段が高いように思いますが、人名事典ですね。

【松永委員長】

人名事典と言いながらも古い方ばかりで、更新がなされていないのであれば類本が良いのではないかという意見もありましたね。再協議をしても意見を変更する委員がいない場合は、委員長に一任させていただきます。

**【事務局】**

事務局から補足させていただきますと、8番目の『建築家人名事典 西洋歴史建築篇』は、97年版を当館は所蔵しており、今回はデジタル開示データ等が集約されたものがあり、現代の調査で必要な情報が追加されて新版になったものですので、図書館として所蔵しても良いかと思いますが、今はインターネットでもデータベース等で調べることもできるので、他の方法で調べようと思えば調べることもできる。ただ、前の97年版を所蔵していて、そこにデジタル開示データ等の現代調査に必要なものを追加した状態で新版として出版されているので、図書館として所蔵しても良いので選書委員会に挙げさせていただいております。

**【松永委員長】**

ネット等で調べられる情報であるという話をすると、他の本も皆そう言えなくもないものばかりになってしまいますよね。だからこそ紙媒体で所蔵していこうという考え方からすると、(インターネットで調べられることを考慮しては話が)前に進めなくなってしまうので、委員長判断で、旧版があり、その更新版ということで購入という形に決めたいと思いますが、よろしいですか。

**【全委員】**

はい。

**【松永委員長】**

では購入可といたします。

**【事務局】**

9番目の『帝国の写真師 小川一眞』は先ほどお伝えした通り、埼玉県のお生まれの方ですが、近代のメディアですとか、目で捉えてみる視覚文化を牽引してきた人物になります。ですので、内容としてはこの方の伝記と、かつメディア史のような視覚文化を引っ張ってきた人ということで、併せて書かれた本であるというもので、図書館で所蔵しても良い本ではありますが、1冊で8800円なので、迷うところがあり、選書委員会の資料に提出させていただいたというものになります。

**【松永委員長】**

この本は本当に迷いますね。

**【事務局】**

松永委員長のご発言で、消極的にも購入可かなと仰っていたので、委員長判断でお願いします。

**【松永委員長】**

すべて購入になってしまいますがよろしいですか。

【事務局】

それは大丈夫です。

【松永委員長】

では、2冊ほど消極的賛成ということで購入としてよろしいですか。

【全委員】

はい。

【松永委員長】

では、以上10冊の検討ありがとうございました。

### (3) その他

【松永委員長】

ご質問、連絡事項等はありませんか。

ご質問等ないので、事務局へお返しします。

【事務局】

ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、長時間に亘りご協議いただき、誠にありがとうございました。第2回目の選書委員会は1月頃を予定しております。引き続きよろしく願いいたします。

これもちまして、令和4年度第1回小牧市立図書館選書委員会を終了いたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。